

演題名：死産を経験した患者に対する連携サポート

氏名：森分純子 (モリワケ ジュンコ)¹⁾ 澤辺麻衣子¹⁾ 井田守¹⁾ 福田愛作¹⁾ 森本義晴²⁾

所属：¹⁾ 医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック ²⁾ HORAC グランフロント大阪クリニック

【発表要旨】

A施設では診察後のルーチンとして、看護師説明を個室にて診療内容の説明や情報提供から感情表出の場の提供まで行っている。更に、臨床心理士による心理カウンセリング、不妊症看護認定看護師(以下 CN)による CN コンサルテーション、生殖医療相談士によるナース相談室を患者が選択できるシステムがある。今回、死産 1 か月後に不安定な精神的状態で来院した患者に対し、生殖医療相談士(看護師)が医師、臨床心理士、CN と密に連携を取り迅速に対応、支援する機会を得た。死産による精神的苦悩を抱えながらも次の妊娠への焦燥感や不安が混在する不妊治療患者の複雑な心理状態に触れ、生殖医療相談士として他職種との連携の重要性を痛感したので、連携サポートの実際を報告する。